

A photograph of four children running away from the camera on a paved path in a park-like setting. The children are in the foreground, and their hair is blowing in the wind. The background shows green trees, a wooden bench, and a building. The text is overlaid on the right side of the image.

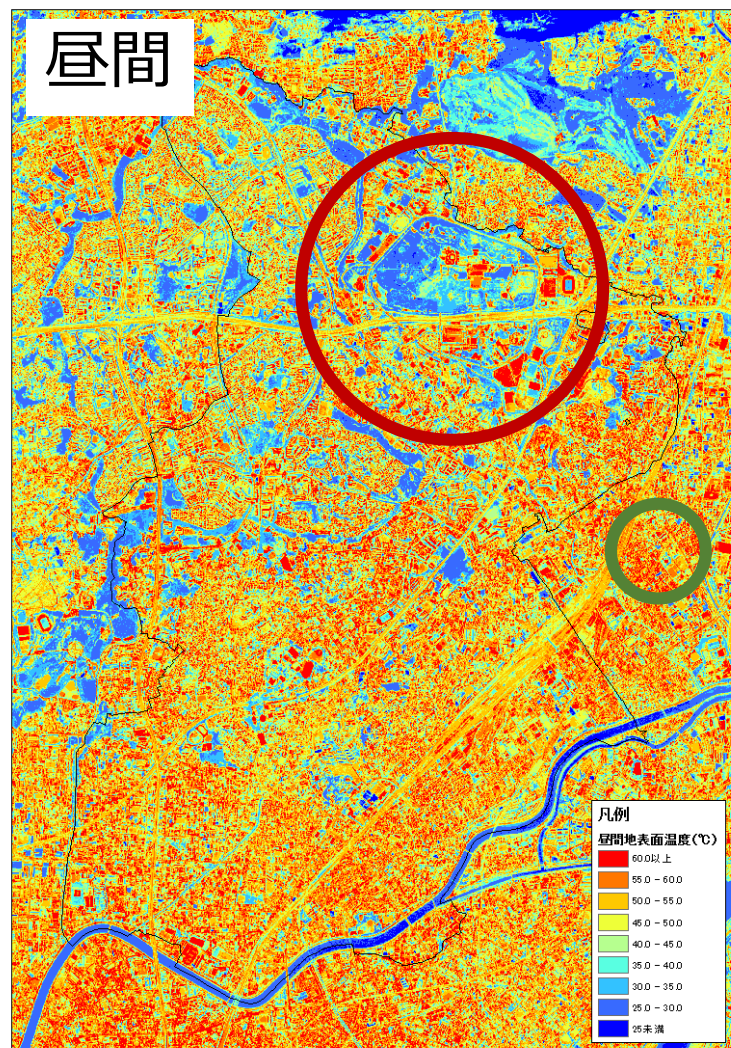
救急搬送者を 一人でも減らすための 熱中症対策

吹田市 環境部 次長 楠本直樹

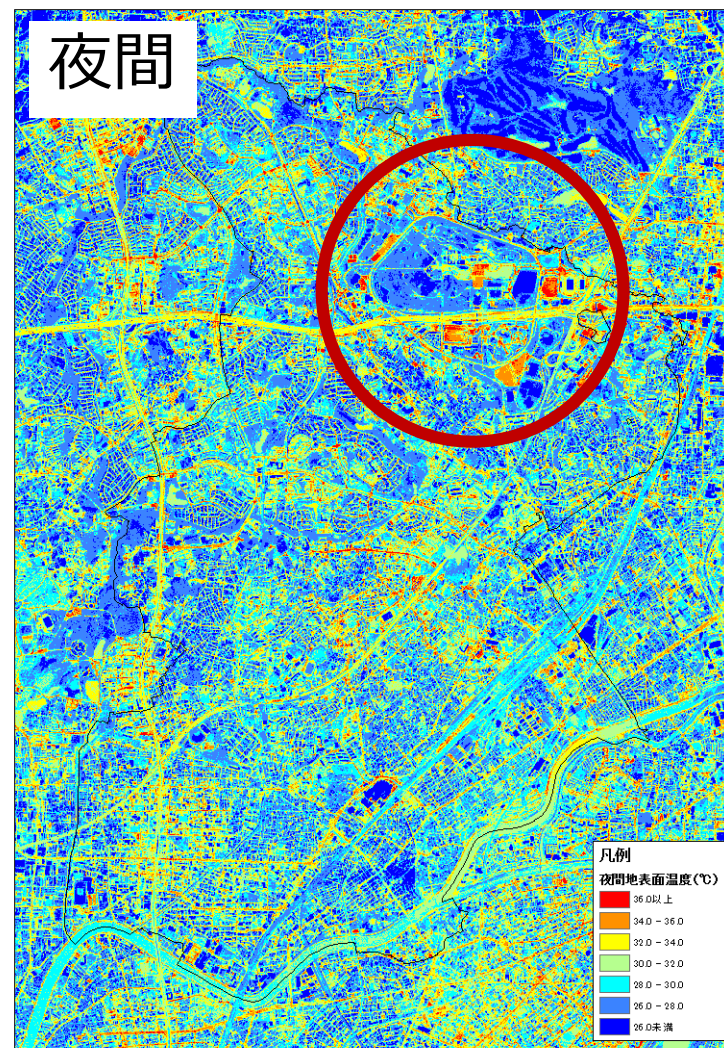
航空機による熱画像撮影

2011年8月

昼間



夜間

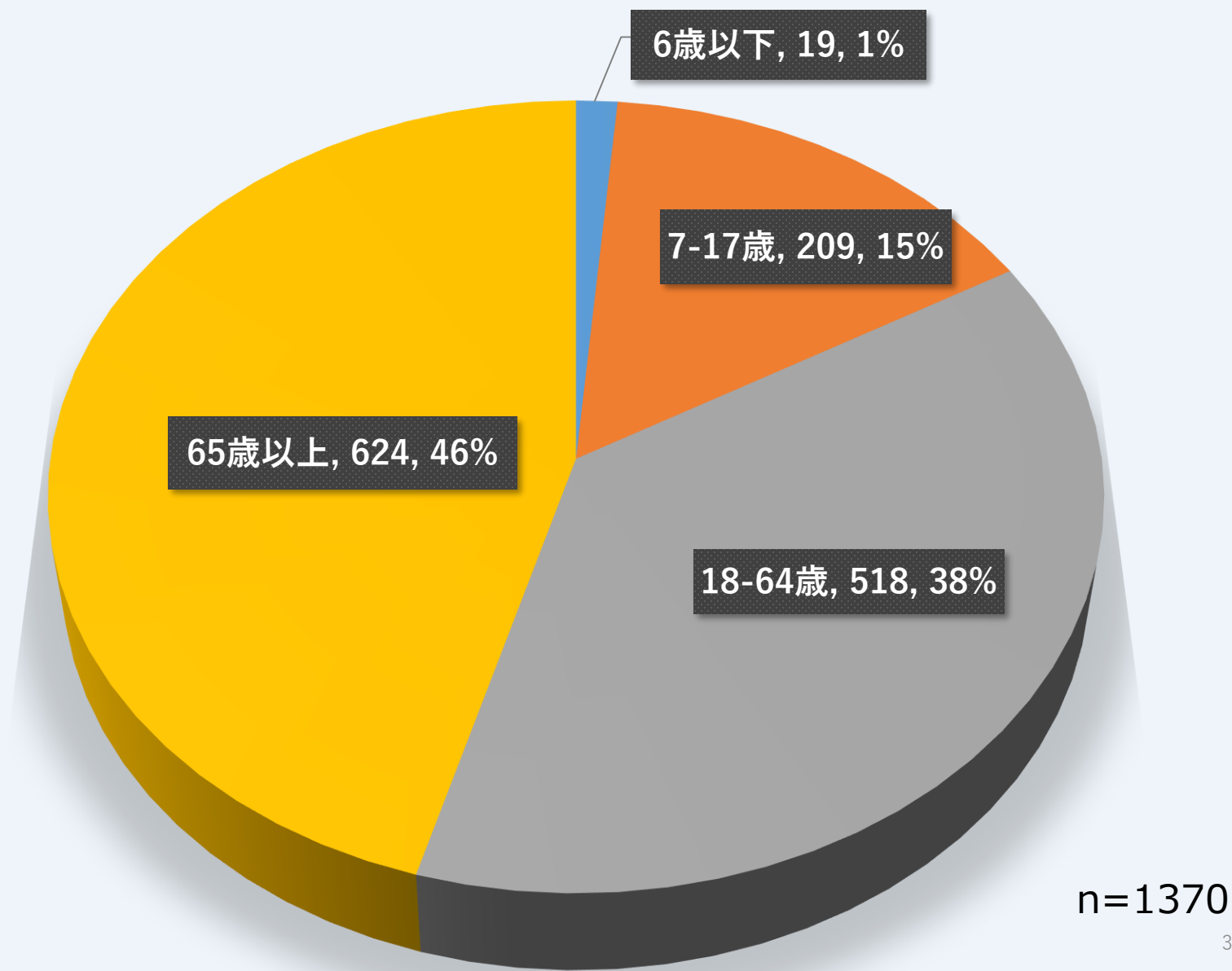


環境省のモデル事業 2019年度～

熱中症救急搬送者数（年齢別・傷病度別）

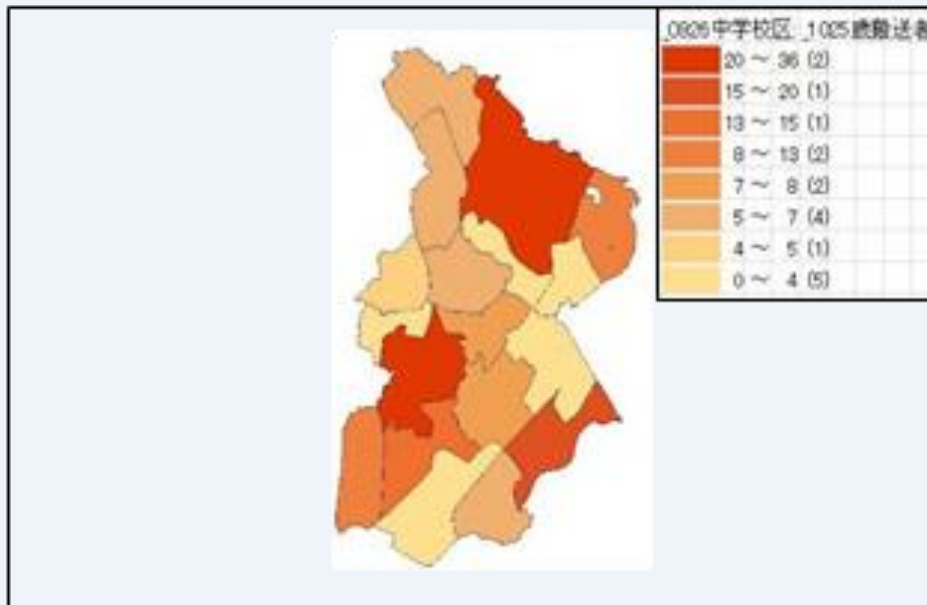
年度	年齢区分				傷病程度			搬送件数
	6歳以下	7-17歳	18-64歳	65歳以上	重症	中等症	軽症	
2023	4	27	95	131	1	33	223	257
2022	2	23	61	85	0	31	140	171
2021	1	8	36	49	1	18	75	94
2020	0	23	54	72	0	43	106	149
2019	2	29	57	61	1	33	115	149
2018	3	31	85	98	1	43	173	217
2017	2	23	33	38	0	16	80	96
2016	1	7	34	39	0	12	69	81
2015	2	29	49	34	0	18	96	114
2014	2	9	14	17	0	7	35	42

年齢別熱中症救急搬送者数（2014-2023）

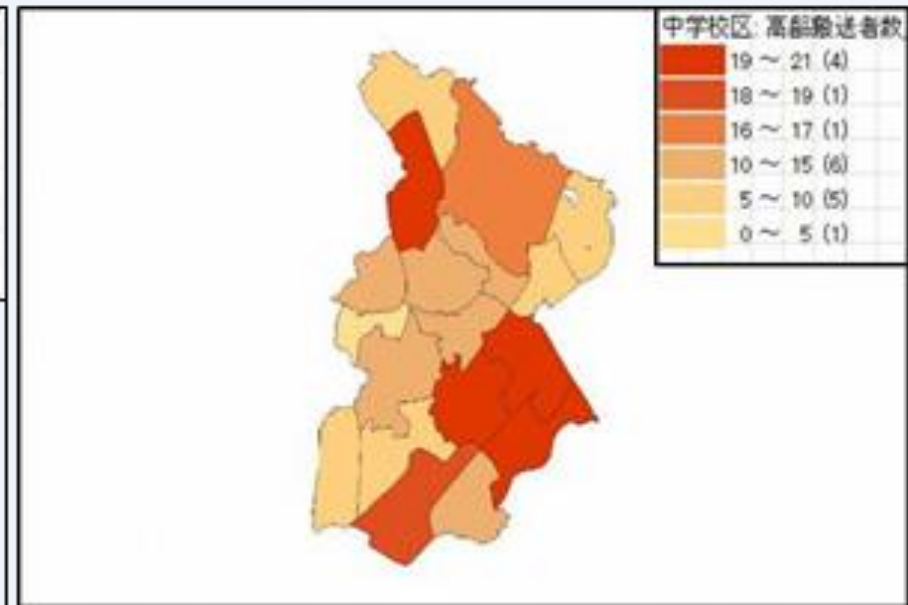


救急搬送者データの解析

高齢者、スポーツをする生徒・学生及び
万博記念公園の運動施設の熱中症発症リスクが高い

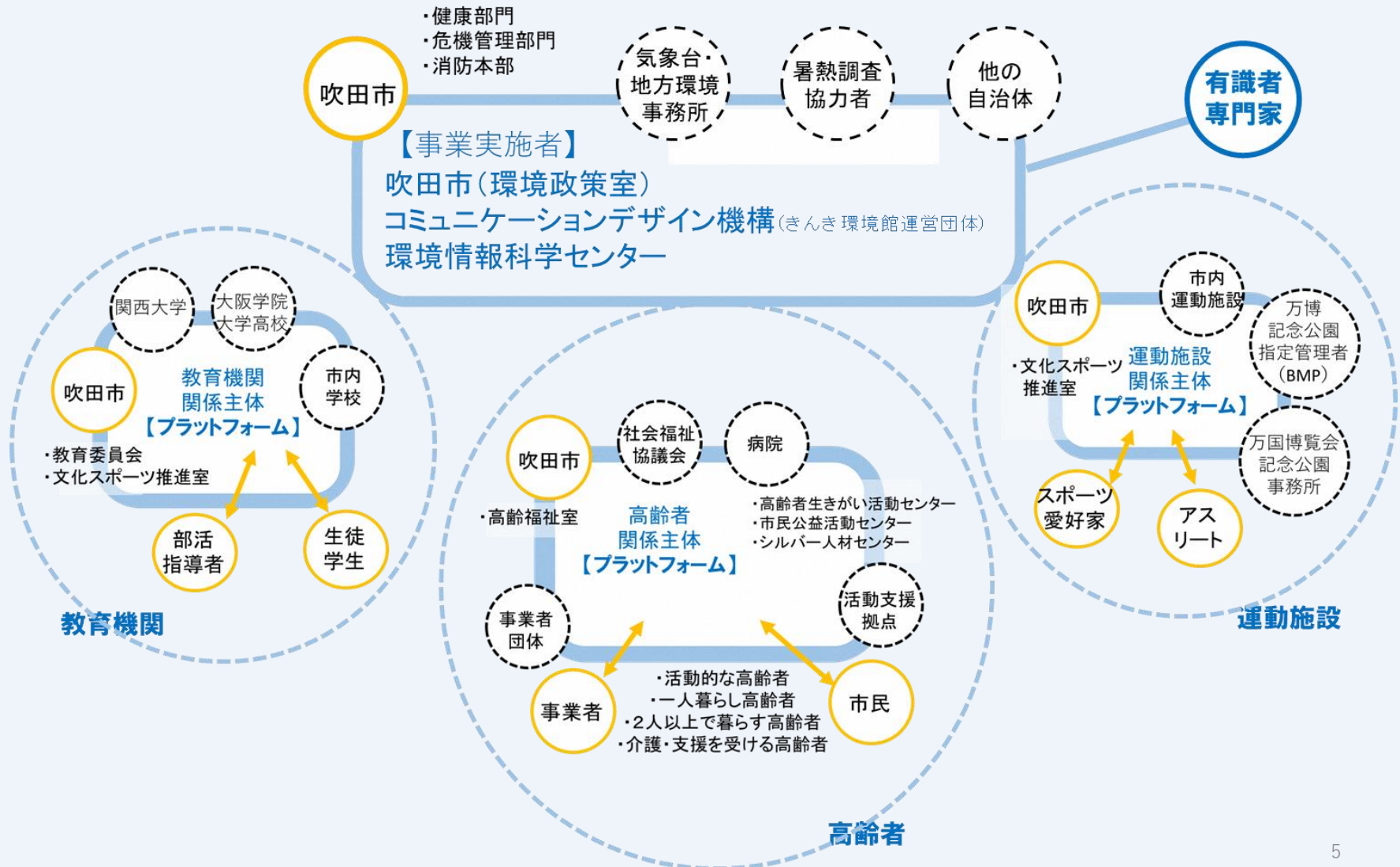


中学校区別搬送者（10-25歳）



中学校区別搬送者（65歳以上）

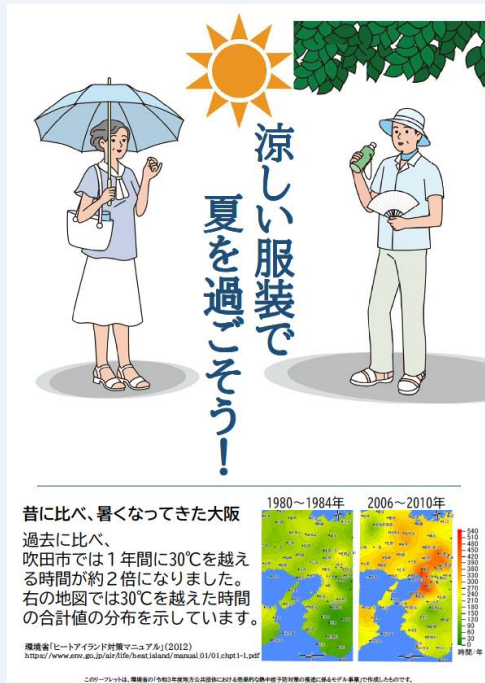
プラットフォーム会議の検討 (高齢者/学校関係者/運動施設)



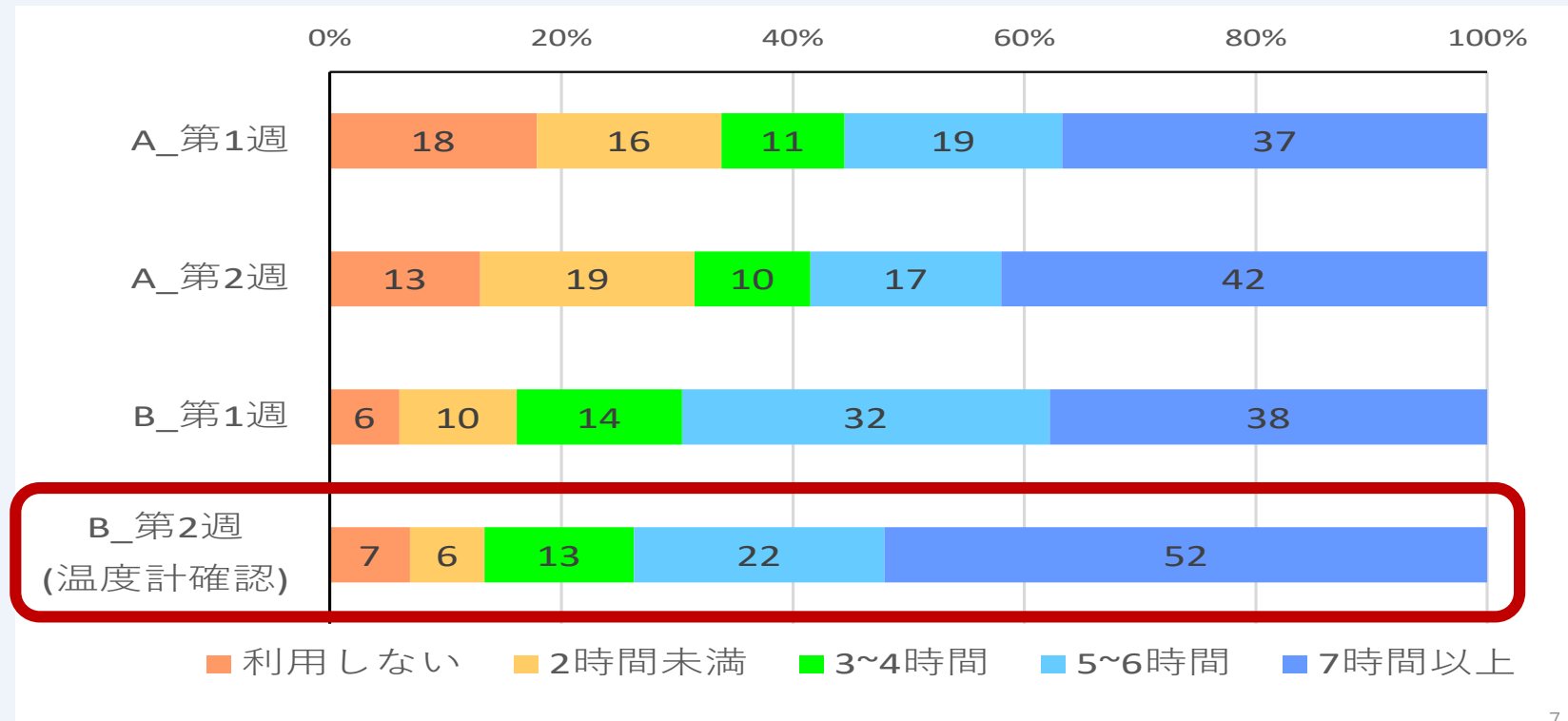
高齢者のプラットホーム会議

(啓発リーフレットに対しての意見)

- 字が小さく、文章が多い
- エアコン利用の促進に向けては、暑さが厳しさを増している状況を伝え、エアコンの上手な使い方をPRする必要
- 高齢者の見守り・声かけが重要



設置したグループでは**温湿度計設置後にエアコン利用時間が長くなる傾向あり**、個人の感覚による主観的な暑さではなく、温湿度計により暑さ情報を客観的な数値で確認することにより、高齢者の睡眠時のエアコン利用などの暑さ対策が促されることが分かった。



住居の築年数や、居住年数が長いほど、エアコンの利用時間が少なくなる傾向が見られた

		調査対象者の居住年数		
		10年未満	10年以上 30年未満	30年以上
住居の 築年数	10年未満	<u>6.5時間</u>	—	5.5時間
	10年以上 30年未満	4.4時間	5.3時間	—
	30年以上	5.5時間	4.8時間	<u>4.2時間</u>

(2023年度)

① 高齢者の熱中症予防対策講習会（6月）

ケアマネジャーをはじめ、高齢者の介護サービスに従事する方を対象にした、熱中症の現状や知識、高齢者のための予防対策等について専門の講師による講習会を実施

② 高齢者の住環境や暑熱対策の実状調査（7月～9月）

ケアマネジャーが受け持たれている高齢者の居住地区、住宅の種別、年齢層、同居人の有無、エアコンの有無や日常的な利用の有無、エアコン以外の日常的な暑さ対策などの実状調査

③ 高齢者の介護に従事する方々との意見交換会（10月）

ケアマネジャーをはじめ、高齢者の介護サービスに従事する方に対して、熱中症対策に関するご意見を伺う意見交換会への実施

① 高齢者の熱中症予防対策講習会

【日 時】 2023年6月30日（木）

【場 所】 吹田市文化会館

【対 象】 居宅介護事業所のケアマネジャーなど

【参加数】 89名

【講 師】 環境省 環境安全課 佐古 勇策氏
環境情報科学センター 石丸 泰氏

① 高齢者の熱中症予防対策講習会

【概 要】

- ・ 熱中症対策の現状と課題
- ・ 効果的な熱中症対策
- ・ 高齢者の熱中症予防に係る基礎知識
- ・ 暑さ指数（WBGT）の解説
- ・ 法制度等の概要
- ・ 見守り機能の重要性 等

（参加者からの感想や意見）

- ・ 「有益」・「非常に有益」との回答
- ・ 高齢者の熱中症対策に係る基礎知識や効果的な対策を理解でき、介護現場で活かしたい。
- ・ 暑さを感じにくく、冷房の使用を拒否する高齢者への働きかけや、認知症の高齢者への熱中症対策に課題ある。

② 高齢者の住環境や暑熱対策の実状調査

【実施時期】 2023年7月20日～9月15日

【回答者】 居宅介護事業所のケアマネジャー

【実施方法】 アンケートは2種類

- ・ **アンケートA** ケアマネジャーの業務に関する調査
- ・ **アンケートB** ケアマネジャーが担当する高齢者の熱中症予防に係る生活実態調査

【回答方法】 googleフォームや紙ベース

【回答数】 <アンケートA> 139件
<アンケートB> 1,504件

② 高齢者の住環境や暑熱対策の実状調査

吹田市内の高齢者
90,237人



居宅介護支援を受ける高齢者
11,390人

アンケートA 4,324人

(アンケートに協力いただいたケアマネジャー
139名が担当する人数)

アンケートB 1,504人

(アンケートに協力いただいたケアマネジャー
が担当する高齢者から任意に選出)



② 高齢者の住環境や暑熱対策の実状調査

【アンケートA】

【アンケートA】

以下の問いについて、該当するものに○印をつけ、カッコ内に適当な数字等をご記入ください。

- ① 現在ご担当されている高齢者の数を教えてください。
() 名
- ② 昨年、ご担当されている高齢者に熱中症を発症された方はおられましたか？
() はい→質問③④へ () いいえ→質問⑤へ
- ③ 質問②で「はい」とお答えになった方にお尋ねします。
何名くらいの熱中症発症を確認しましたか？また、そのうち救急搬送された方は、何名くらいおられますか？
熱中症発症 () 名くらい、うち救急搬送 () 名くらい
- ④ 質問②で「はい」とお答えになった方にお尋ねします。
熱中症を発症された方には、部屋の環境など、どのような環境・行動要因がありましたか？※複数名おられる場合は、複数回答可。
() エアコンを設置していなかった () エアコンは設置してあるが使用していません
() 風通しが悪く高温多湿の室内にいた () 厚着していた
() ひとり暮らしで熱中症予防を見守る家族・知人がいなかった
その他 ()
- ⑤ 居宅サービス計画書を作成するうえで、熱中症対策について相談を受けたことがありますか？
() ある→質問⑥へ () ない→質問⑦へ
- ⑥ 質問⑤で「ある」とお答えになった方にお尋ねします。
誰から、どのようなご相談を受けましたか？※複数名おられる場合は、複数回答可。
<相談者>
() ご本人 () 同居の家族 () 同居していない家族
その他 ()
- <相談内容>
() エアコンの使用 () エアコンの使用以外の住環境 () 水分補給
() 服装 () 散歩や買い物などの外出時の対策
その他 ()
- ⑦ 居宅サービス計画書を作成するうえで、熱中症対策に係り留意されている点があればご記入ください。

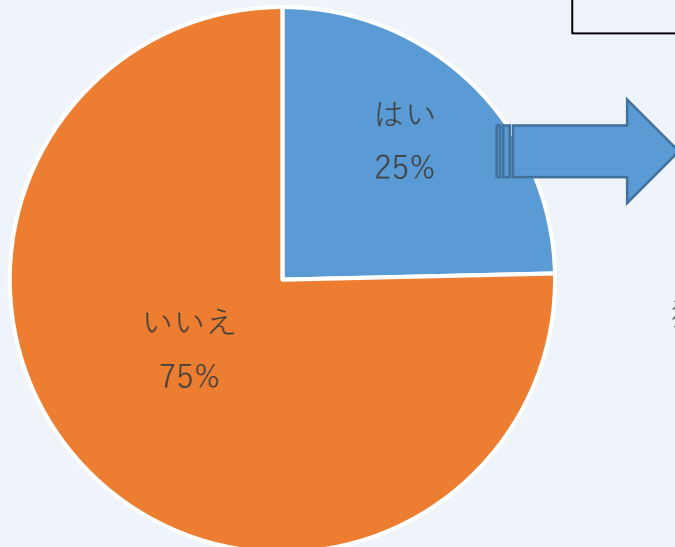
- ① 担当する高齢者の数
- ② 昨年、ご担当する高齢者に熱中症を発症された方の有無
- ③ 熱中症を発症された方・救急搬送された方の人数
- ④ 熱中症を発症された方の状況
- ⑤ 居宅サービス計画書への熱中症に係る相談の有無
- ⑥ 相談者と相談内容
- ⑦ 居宅サービス計画書を作成するうえで、熱中症対策に係る留意点

② 高齢者の住環境や暑熱対策の実状調査

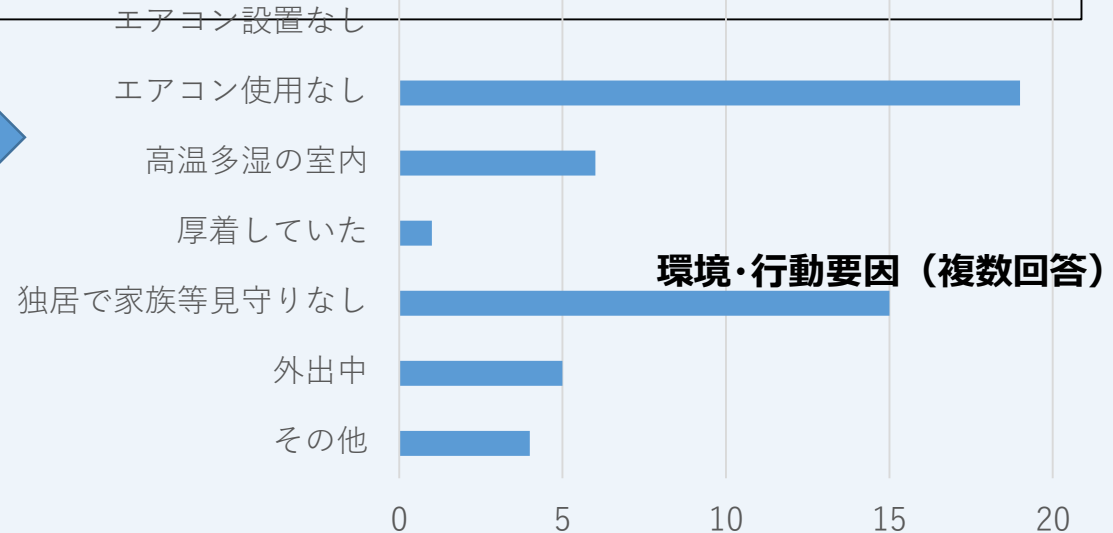
【アンケートA】 結果

回答数 139件

担当する高齢者の熱中症発症状況



47名の熱中症発症を確認
(担当する高齢者の**約1%**)
→ **うち22名が救急搬送**



熱中症発症の状況としては、「**エアコンを設置していたが使用していなかった**」「**ひとり暮らしで熱中症予防を見守る家族等がいなかった**」の回答が多く、外出中の回答もあった。



② 高齢者の住環境や暑熱対策の実状調査

【アンケートA】 結果

回答数 139件

吹田市全体の居宅介護支援を受ける高齢者の熱中症救急搬送数の推定（2022年）

	居宅介護支援を受ける高齢者数 (人)	熱中症救急搬送数 (人)	救急搬送率
アンケート対象	4,324	22	0.509%
吹田市全体	11,390※	58（推定値）	

※ 吹田市介護保険状況報告（2022年9月）

吹田市の居宅介護支援非対象者の熱中症救急搬送数の推定（2022年）

	高齢者数（人）	熱中症救急搬送数 (人)	救急搬送率
吹田市全体	90,237	85	0.094%
居宅介護支援 非対象者	78,847	27（推定値）	0.034%

② 高齢者の住環境や暑熱対策の実状調査

【アンケートA】 結果

回答数 139件

吹田市で居宅介護支援を受ける高齢者の熱中症救急搬送の割合

	救急搬送有（人）	救急搬送無（人）	計（人）
居宅介護支援対象者	58（推定値）	11,332	11,390
居宅介護支援非対象者	27（推定値）	78,820	78,847
計	85	90,152	90,237

$$\text{リスク比} = \frac{58 / 11,390}{27 / 78,847} = 14.9$$

居宅介護支援を受ける高齢者の熱中症救急搬送の割合は、居宅介護支援非対象者にくらべて**非常に高い**。



② 高齢者の住環境や暑熱対策の実状調査

【アンケートB】

【アンケートB】※2ページあります

以下の問いについて、該当するものに○印をつけ、カッコ内に適当な数字等をご記入ください。

① 対象者の健康状態等について

年齢	() 60 歳代 () 70 歳代 () 80 歳代 () 90 歳以上	性別	() 男 () 女
介護 レベル	() 要支援1 () 要支援2 () 要介護1 () 要介護2 () 要介護3 () 要介護4 () 要介護5		
日常生活 自立度	() I () II () IIa () IIb () III () IIIa () IIIb () IV () M		
既往歴	() 高血圧 () 心疾患 () 認知症 () 精神疾患 その他 ()		

② 対象者のお住まいのおおよその場所、住居の種類・構造等

居住地	吹田市 () ※「丁目」までをご記入ください
住居の種類	() 戸建 () 集合住宅: () 階 その他 ()
居住年数	() 10 年未満 () 10 年以上 30 年未満 () 30 年以上 () 不明
住所の構造	() 木造 () 鉄筋コンクリート () 鉄骨 () 不明

③ 対象者の見守り状況

同居人の有無	() 配偶者 () 子や孫 () なし () 不明 その他 ()
近所で見守る人の有無	() 家族・親族 () 隣人 () 友人 () 不明 その他 ()

④ 対象者の熱中症の受診歴や熱中症に対するご関心など

熱中症の受診歴 (分かる範囲で)	() 熱中症で受診歴あり →「あり」の場合、() 自宅療養 () 入院 () 詳細は不明 () 熱中症での受診歴なし () わからない
熱中症への関心	() 大変高い () 高い () どちらともいえない () 低い () 大変低い
「熱中症警戒アラート」の認知度	() アラート発表情報を入手して参考になっている () アラートの存在は知っているが参考にしていない () アラートの存在を初めて知った
熱中症対策に 関する 情報の入手方法 (複数回答可)	() テレビ () ラジオ () インターネット (スマートフォン) () 新聞 () 家族からの声かけ () 友人や近所の方からの声かけ () ケアマネージャー・ヘルパーからの声かけ その他 ()

★次ページに続きます。

⑤ 対象者の暑さ対策の状況

暑さ対策の 自己管理	() エアコンの操作やその他暑さ対策を自分の判断でできる () エアコンの操作やその他暑さ対策を指示すればできる () 自分ではできないので、介護者が管理する その他 ()
日中等の暑さ対策	日中過ごす部屋のエアコンの設置有無 () ある () ない 日中過ごす部屋の温度計の設置有無 () ある () ない () エアコンを日常的に使用している () エアコンを日常的に使用していない () 不明
就寝時の暑さ対策	寝室のエアコンの設置有無 () ある () ない 寝室の温度計の設置有無 () ある () ない () オフタイマーなしで、エアコンをつけたまま寝る () エアコンのオフタイマーをかけて寝る () エアコンをつけたまま寝ることはない () 不明
エアコンを使用 した暑さ管理	() オンオフは体感の温度で決めている () オンオフは温度計を見て決めている その他 ()
エアコン以外の 暑さ対策 (複数回答可)	() うちわ・扇子 () 扇風機などの送風機 () 冷たい飲料の摂取 () 吸湿性・速乾性や風通しのよい衣服の着用 () 水浴び () 遮光カーテン、すだれなどで採光調整や打ち水などで外気温を下げる () 施設・店舗等のクールスポット利用 その他 ()

以上で調査は終了です。ご協力ありがとうございました。

- ①対象者の健康状態等
- ②対象者のお住まいのおおよその場所、住宅の種類・構造等
- ③対象者の見守り状況
- ④対象者の熱中症の受診歴（過去）や熱中症に対するご関心など
- ⑤対象者の暑さ対策の状況

② 高齢者の住環境や暑熱対策の実状調査

吹田市内の高齢者
90,237人



居宅介護支援を受ける高齢者
11,390人

アンケートA 4,324人

(アンケートに協力いただいたケアマネジャー
139名が担当する人数)

アンケートB 1,504人

(アンケートに協力いただいたケアマネジャー
が担当する高齢者から任意に選出)

② 高齢者の住環境や暑熱対策の実状調査

【アンケートB】 結果

健康状態等

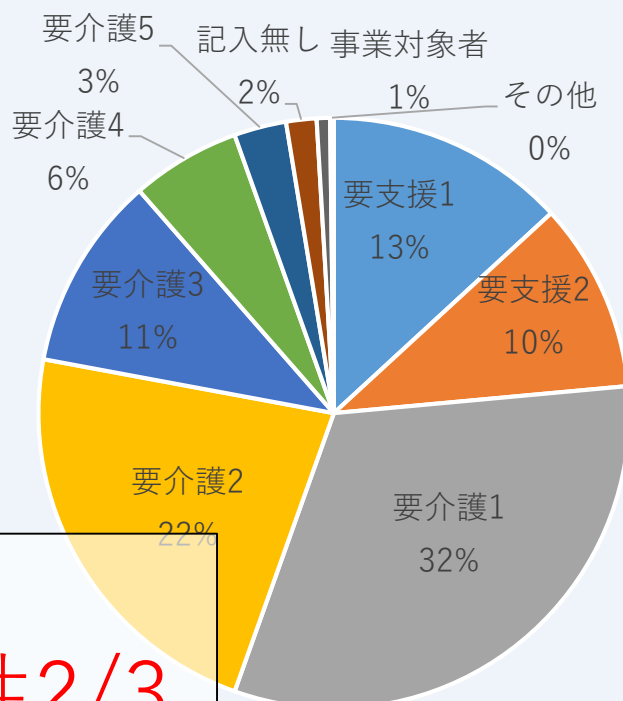
回答数 1,504件

年齢/性別

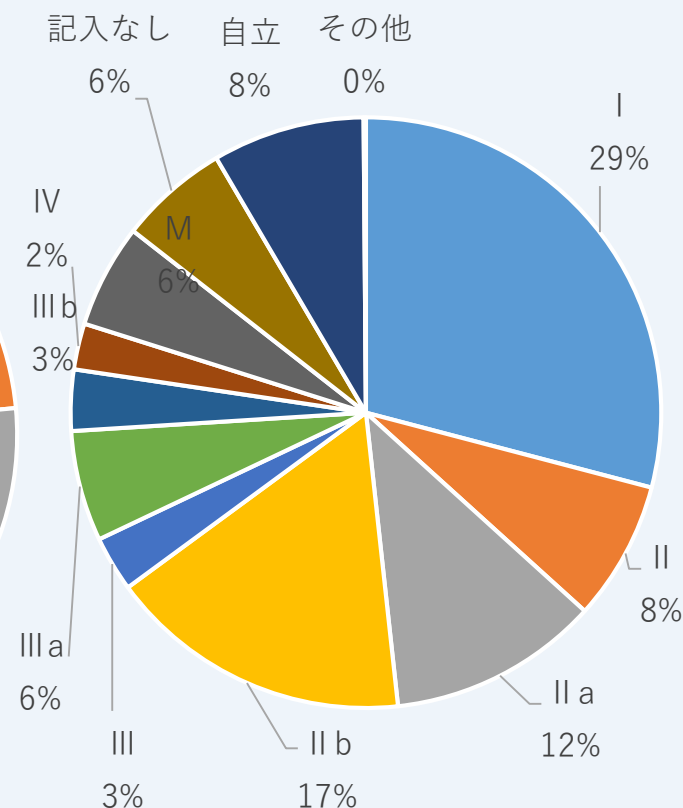
	男性	女性	回答なし
50歳代	1	2	0
60歳代	24	35	3
70歳代	117	147	28
80歳代	234	486	33
90歳以上	95	287	4
回答なし		8	

回答割合：
男性1/3 女性2/3

介護レベル



日常生活自立度

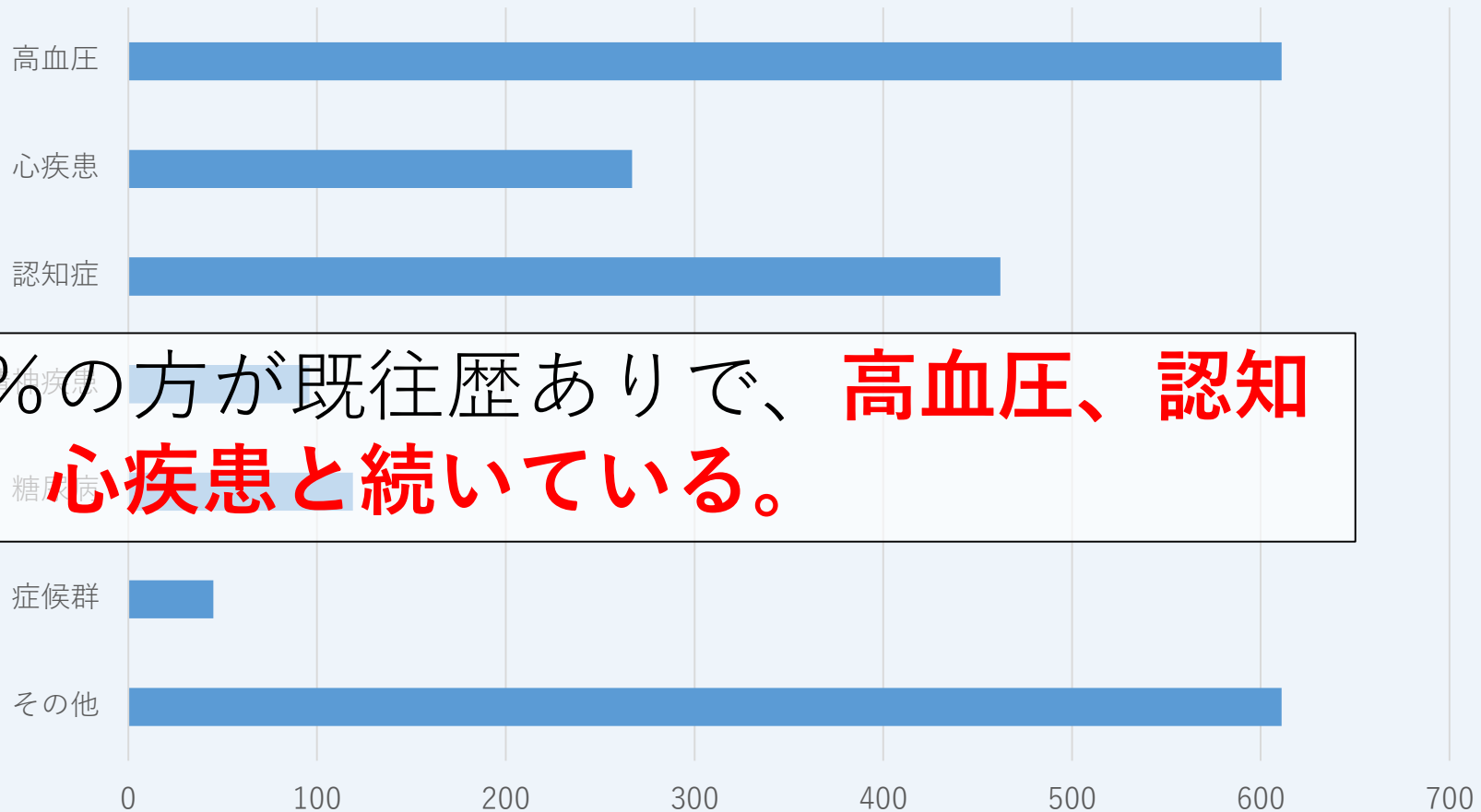


② 高齢者の住環境や暑熱対策の実状調査

【アンケートB】 結果

既往歴

※回答の多い主な疾病を抽出（複数回答）



95%の方が既往歴ありで、**高血圧、認知症、心疾患**と続いている。

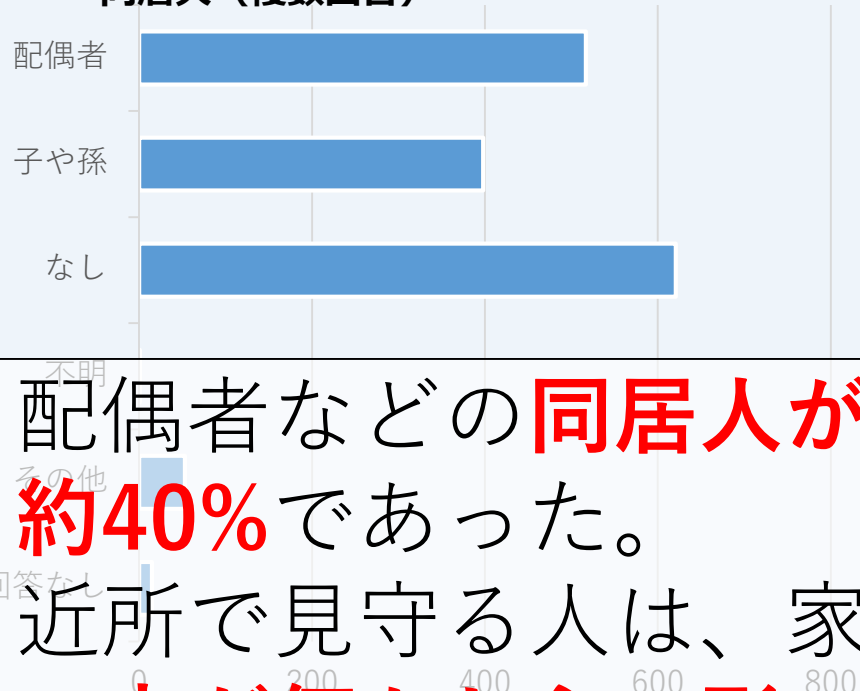
その他：リウマチ、骨折、がん、脳梗塞など

② 高齢者の住環境や暑熱対策の実状調査

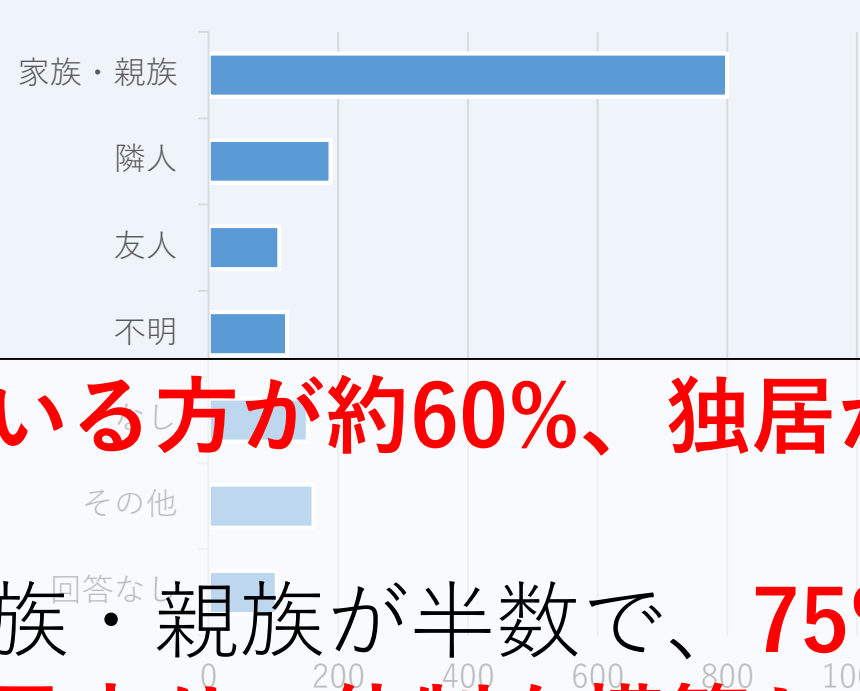
【アンケートB】 結果

見守り状況

同居人（複数回答）



近所で見守る人（複数回答）



配偶者などの同居人がいる方が約60%、独居が約40%であった。

近所で見守る人は、家族・親族が半数で、75%の方が何かしらの形で見守りの体制を構築していることが分かった。

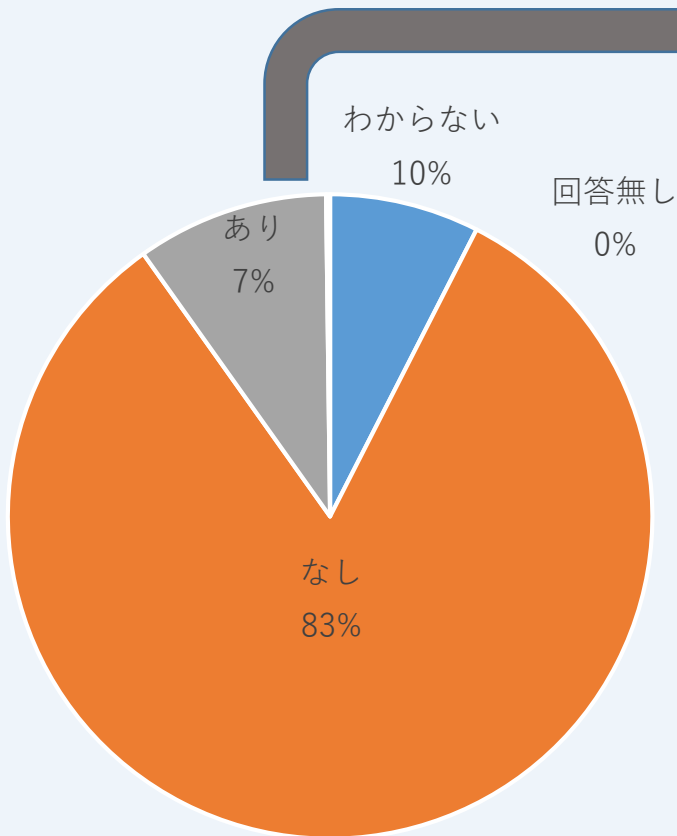
② 高齢者の住環境や暑熱対策の実状調査

【アンケートB】 結果

熱中症の受診歴（過去）

113名の方がこれまでに受診歴あり

約63%が自宅療養
約19%が入院
約18%が詳細不明・回答なし



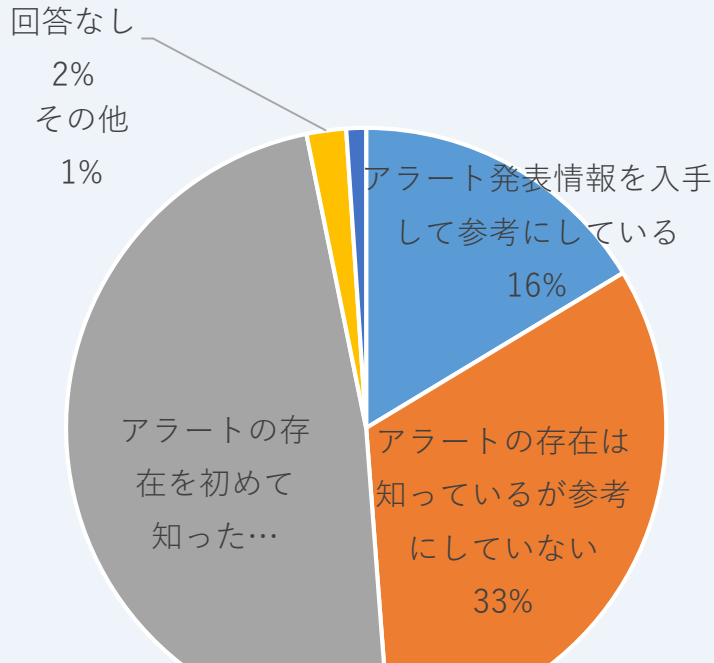
	男性	女性	回答なし
60歳代	2	3	0
70歳代	10	8	1
80歳代	21	29	2
90歳以上	14	24	0
回答なし	1		

対象者のうち、受診歴ありの割合としては、
 80歳男性 8.9%
 80歳女性 6.0%
 90歳以上男性 14.7%
 90歳以上女性 8.4%
 と、**男性の方が比率が若干高い？**

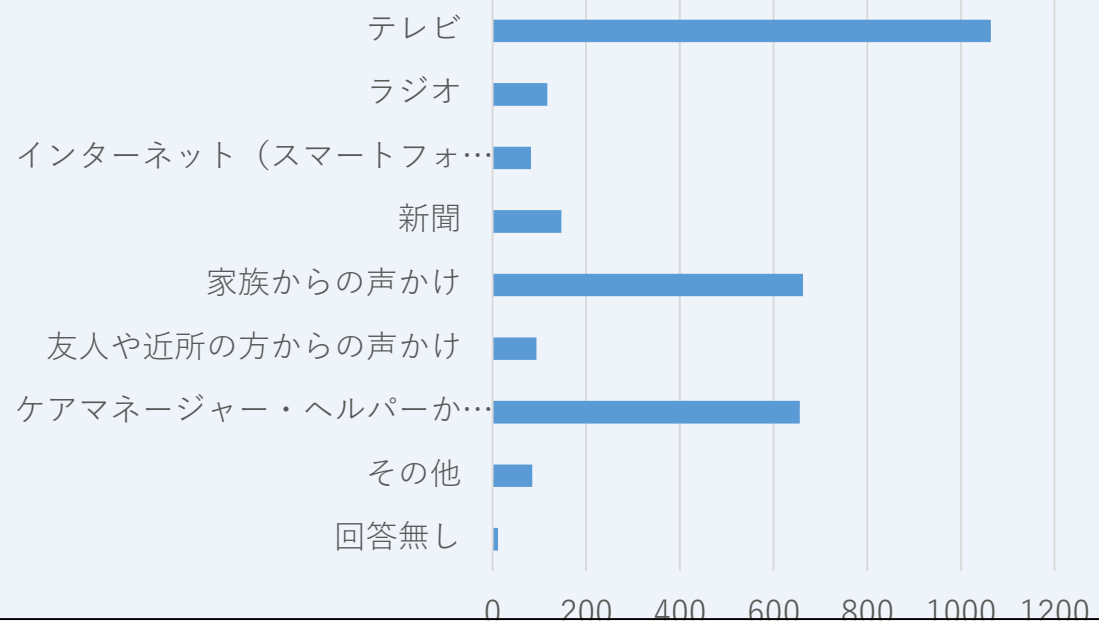
② 高齢者の住環境や暑熱対策の実状調査

【アンケートB】 結果

「熱中症警戒アラート」の認知度



熱中症対策に関する情報の入手方法 (複数回答)

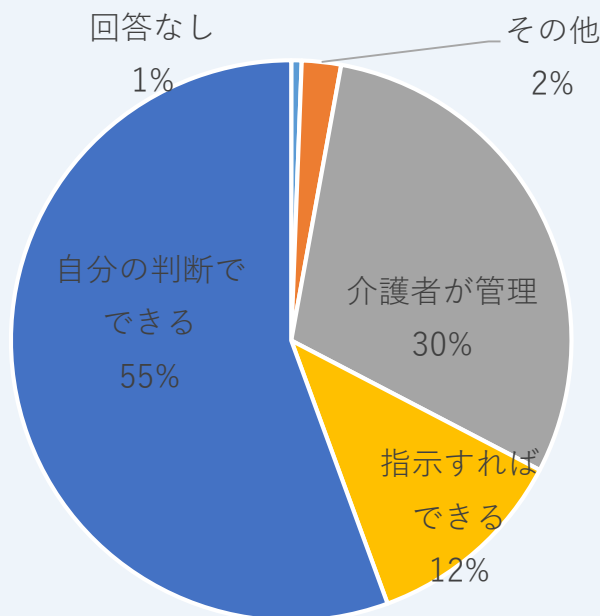


約半数が「アラートの存在を初めて知った」と回答
 情報の入手方法としては、「**テレビ**」が最も多く、次いで「**家族からの声かけ**」「**ケアマネジャー・ヘルパーからの声かけ**」が多い。

② 高齢者の住環境や暑熱対策の実状調査

【アンケートB】 結果

暑さ対策の自己管理



「エアコンの操作やその他暑さ対策を自分の判断でできる」(55%)と回答。一方「指示すればできる」(12%)「介護者が管理」(30%)のなかには、「すぐに消してしまう」「指示してもつけない」「時々暖房になっている」という声がある。

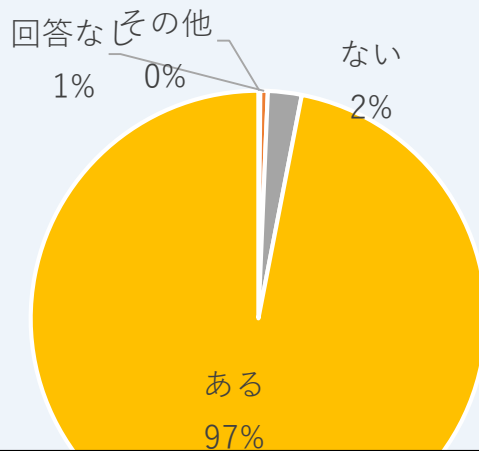
② 高齢者の住環境や暑熱対策の実状調査



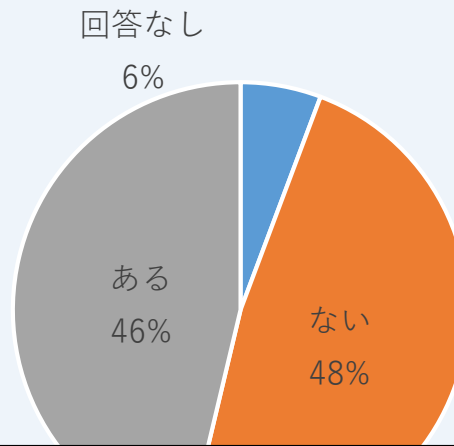
【アンケートB】 結果

日中等の暑さ対策

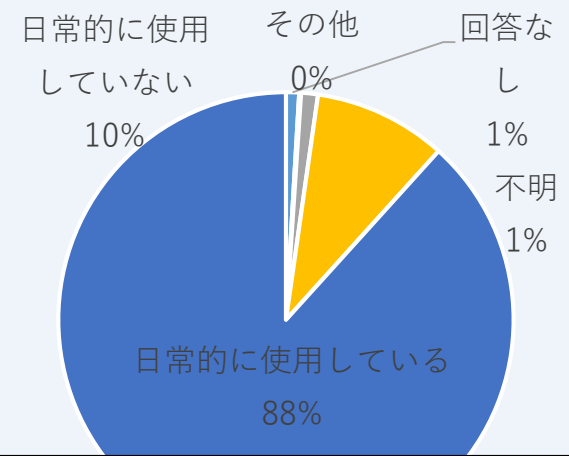
エアコンの設置有無



温度計の設置有無



エアコンの使用



エアコンの設置について、**97%が「ある」**と回答。
温度計の設置について、「ある」「ない」がそれぞれ約半数。

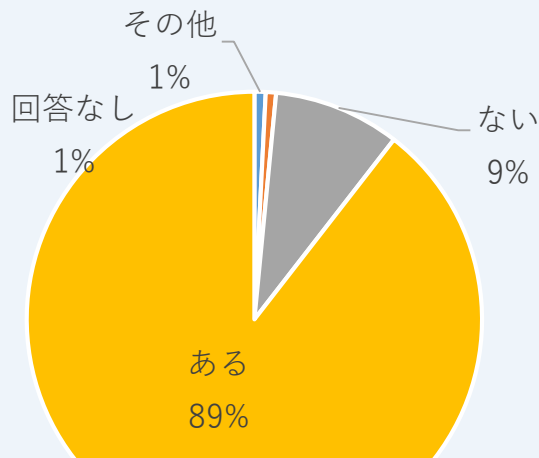
エアコンの使用は**88%が「日常的に使用している」**

② 高齢者の住環境や暑熱対策の実状調査

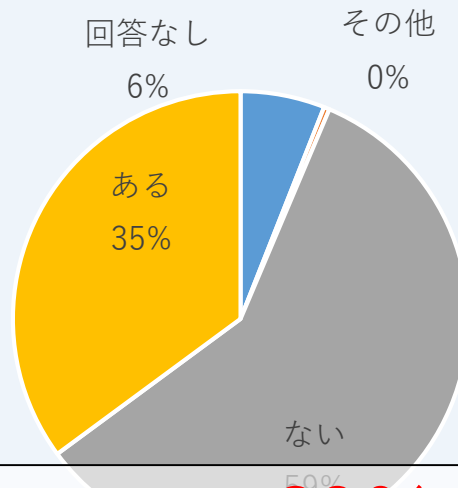
【アンケートB】 結果

就寝時の暑さ対策

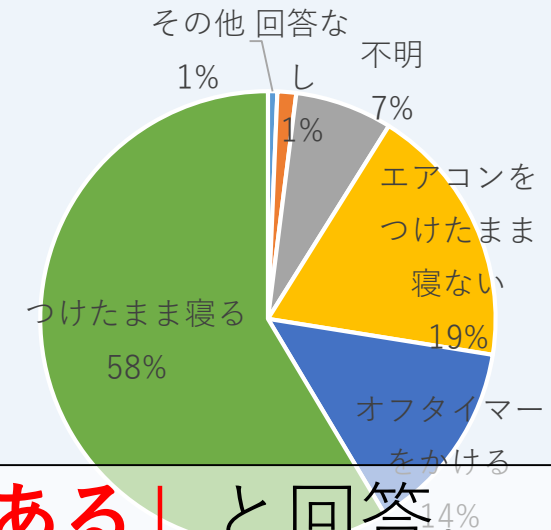
エアコンの設置有無



温度計の設置有無



エアコンの使用



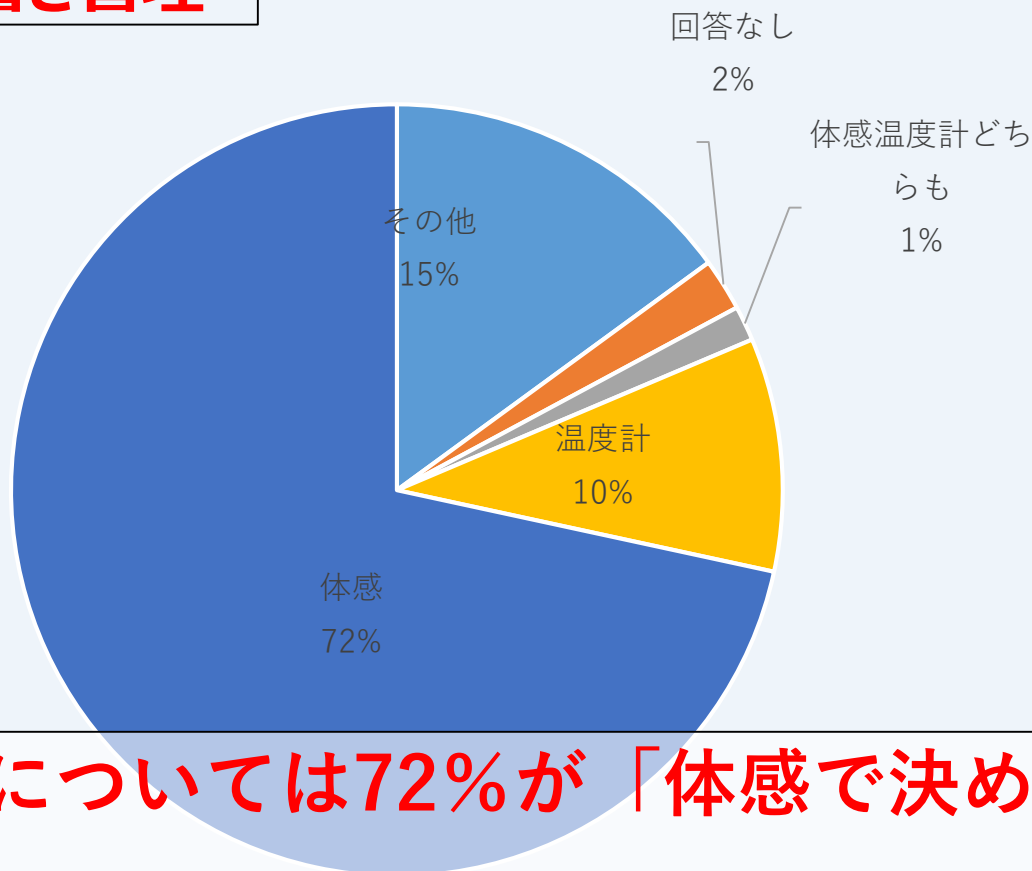
エアコンの設置について、**89%が「ある」と回答**。
 温度計の設置について、「ない」が「ある」を上
 回った。

エアコンの使用は**58%が「つけたまま寝る」、一方
 19%が「エアコンをつけたまま寝ることはない」**

② 高齢者の住環境や暑熱対策の実状調査

【アンケートB 結果】

エアコンを使用した暑さ管理



エアコンの使用については72%が「体感で決めている」。

② 高齢者の住環境や暑熱対策の実状調査

【アンケートB】 結果（多重ロジスティック回帰分析）

解析方法

熱中症の受診歴の有無（目的変数）に及ぼす以下の要因（説明変数）の影響を解析した。

- ・ 年齢、性別
- ・ 要支援・要介護度
- ・ 自立度
- ・ 基礎疾患の有無
 - 高血圧、心疾患、認知症、精神疾患、糖尿病、パーキンソン病、腎障害
- ・ 住居種類
- ・ 居住年数
- ・ 同居者、見守りの有無
- ・ エアコンの管理
- ・ 日中・夜間のエアコン使用

結果の見方

オッズ比が1より大きく（小さく）、95%信頼区間が1をまたがなければプラス（マイナス）に有意の影響がある。

② 高齢者の住環境や暑熱対策の実状調査

【アンケートB】 結果（多重ロジスティック回帰分析）

年齢・性別・自立度等

回答数 1,504件

		オッズ比	95%信頼区間（下限，上限）
年齢	90歳以上	2.48	(0.52 , 11.86)
	70歳代	1.24	(0.25 , 6.23)
	80歳代	1.19	(0.26 , 5.57)
	50・60歳代	1.00	
性別	男	2.47 *	(1.43 , 4.27)
	女	1.00	
要支援・要介護度	要介護 4・5	1.11	(0.38 , 3.24)
	要介護 3	0.84	(0.31 , 2.32)
	要介護 2	0.65	(0.29 , 1.46)
	要介護 1	0.58	(0.27 , 1.25)
	自立、要支援1・2	1.00	
自立度	Ⅳ・Ⅳ	2.18	(0.50 , 9.44)
	Ⅲ・Ⅲa・Ⅲb	1.23	(0.41 , 3.75)
	Ⅱ・Ⅱa・Ⅱb	1.67	(0.89 , 3.14)
	自立・Ⅰ	1.00	

② 高齢者の住環境や暑熱対策の実状調査

【アンケートB】 結果（多重ロジスティック回帰分析）

基礎疾患等

回答数 1,504件

		オッズ比	95%信頼区間（下限，上限）
高血圧	有	0.73	(0.42 , 1.26)
	無	1.00	
心疾患	有	0.70	(0.35 , 1.38)
	無	1.00	
認知症	有	0.76	(0.37 , 1.56)
	無	1.00	
精神疾患	有	0.23	(0.03 , 1.76)
	無	1.00	
糖尿病	有	0.39	(0.11 , 1.34)
	無	1.00	
パーキンソン病	有	1.76	(0.45 , 6.90)
	無	1.00	
腎障害	有	1.36	(0.25 , 7.39)
	無	1.00	

② 高齢者の住環境や暑熱対策の実状調査

【アンケートB】 結果（多重ロジスティック回帰分析）

住宅種類・居住年数

回答数 1,504件

		オッズ比	95%信頼区間（下限，上限）
住居種類	施設	0.95	(0.48 , 1.90)
	戸建	1.10	(0.54 , 2.27)
	集合住宅	1.00	
居住年数	30年以上	1.73	(0.78 , 3.86)
	10年以上30年未満	1.57	(0.71 , 3.45)
	10年未満	1.00	
同居者	なし	—	(— , —)
	家族	—	(— , —)
	家族以外	1.00	
見守り	なし	1.03	(0.49 , 2.15)
	あり	1.00	

② 高齢者の住環境や暑熱対策の実状調査

【アンケートB】 結果（多重ロジスティック回帰分析）

エアコン管理・使用

回答数 1,504件

		オッズ比	95%信頼区間（下限, 上限）
エアコンの管理	管理できない	1.16	(0.55 , 2.45)
	要見守り	1.77	(0.77 , 4.06)
	管理できる	1.00	
日中のエアコン使用	使用していない	0.58	(0.20 , 1.68)
	使用している	1.00	
夜間のエアコン使用	使用していない	2.08 *	(1.06 , 4.07)
	短時間使用している	1.36	(0.67 , 2.79)
	使用している	1.00	

② 高齢者の住環境や暑熱対策の実状調査

【アンケートB】 結果（多重ロジスティック回帰分析）

まとめ

回答数 1,504件

吹田市の居宅介護支援を受けている方の熱中症発症に影響する要因		オッズ比	95%信頼区間
有意な結果	男性（vs 女性）	2.47	1.43～4.27
	夜間にエアコンを使用していない（vs 使用している）	2.08	1.06～4.07
有意ではないが、意見交換等で出された意見と整合する要因	居住年数：30年以上（vs 10年未満）	1.73	0.78～3.86
	自立度：Ⅱ・Ⅱa・Ⅱb（vs 自立・Ⅰ）	1.67	0.89～3.14
	エアコンの管理：要見守り（vs 自分で管理できる）	1.77	0.77～4.06



③ 高齢者の介護に従事する方々との意見交換会

【日 時】 2023年10月12日（木） 14:00～16:00

【場 所】 吹田市役所

【対 象】 居宅介護事業所のケアマネジャー

【参加数】 15名（5名×3グループ）

【概 要】 居宅支援が必要な高齢者の熱中症対策に係り、ケアマネジャーが動きやすい環境づくりに向けた現状打開策（**現在困っていることや、こうだったらやりやすいなという意見**）を意見交換から抽出し、行政として動けることを検討する材料とすることを目的に開催。



③ 高齢者の介護に従事する方々との意見交換会

○エアコン使用の拒否、暑さに対する危機意識が低い

<状況>

- ・介護者がエアコンをつけても、本人がすぐに切ってしまう。
- ・本人が暑さを感じていない。夏でもセーターを着たり、ストーブをつけたりしている。
- ・介護者からの声かけや社会的な啓発の効果により、エアコンを適切につける方が増えた印象がある。
- ・扇風機がない家も多い。風があたることを極端に嫌う。



<対策等>

- ・自宅では危険性が高いと判断し、夏の1～2ヶ月間、介護老人保健施設に入所して避暑をしていただいた。
- ・日中はショートステイと組み合わせて、室温管理がされている場所にいられるように工夫した。
- ・費用面や本人の希望で施設の活用が難しい方には、毎日誰かが訪問するようにして、室温管理を行った。
- ・エアコンの設定温度を1℃上げてみたところ、エアコンを切ってしまう頻度が減った。

③ 高齢者の介護に従事する方々との意見交換会

○金銭的な問題によるエアコンの利用自粛

<状況>

- ・光熱費を心配して、エアコンの使用を控える方がいる。
- ・金銭的な問題でエアコンがない家もある。

<対応等>

- ・エアコンをつけたときにかかる費用と、熱中症で入院した場合にかかる費用を比較して、どちらがよいかを本人に選択していただくような声かけを行った。





③ 高齢者の介護に従事する方々との意見交換会

○認知症が少し進んだ方（日常生活自立度ランクⅡあたり）の 熱中症対策

<状況>

- ・エアコンを切ってしまうないように、リモコンを隠しても、どこから探し出してきて、正しく認知ができない状態でリモコンを触ってしまう（暖房になっている場合がある）。
- ・エアコンのリモコンを隠すと、椅子などを運んできてのぼり、エアコンのコンセントを抜いて消してしまう。



<対応等>

- ・対応に苦慮！
- ・日中はデイサービスを利用するなどして、夏を乗り切った。



③ 高齢者の介護に従事する方々との意見交換会

○ポスターやチラシによる熱中症予防の普及啓発

<状況>

- ・郵送で届いても見ない。
- ・市役所と医師からの情報だと関心を持ってくれやすい。
- ・口頭で説明しても頭に入らないので、チラシがあるとよい。



<アイデア>

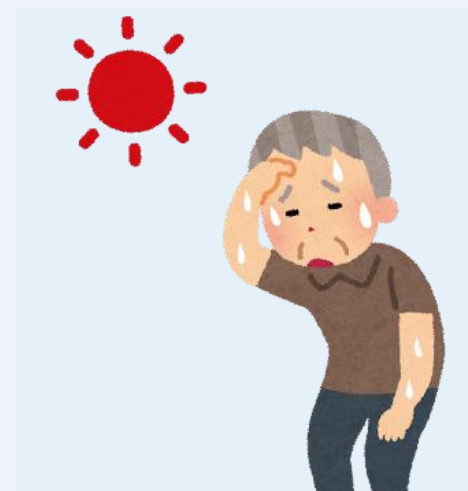
- ・夏前にケアマネジャーの事業所に利用者への配布分をいただけるとよい。
- ・利用者の居室用に、室温によって色が変わる素材をつかってステッカーを作ると、視覚的なサインとして分かりやすい。
- ・ケアマネジャーから手渡しして説明し、冷蔵庫に貼るなどすれば捨てられにくく、効果的だと思う。
- ・学校や公民館などの公共施設のサイネージにWBGT値が掲示されるとよい。
- ・正しい熱中症対策を啓発できればよい。
- ・熱中症のチラシ等を回覧板でまわして啓発するのもよいのではないかな。



③ 高齢者の介護に従事する方々との意見交換会

○その他

- ・介護者が関わっている場合は、見守り機能がしっかりしているが、**元気な高齢者の方が見守りがなくて熱中症発症が心配される。**
- ・体操教室や生きがいサロンなどの集まりに出て来られるコミュニケーションが好きな方は、様々な形での見守りがあるが、**この様な場に参加しない方、特に独居（特に一軒家）で、外部との接点が少ない方の熱中症の発症が心配される。**



まとめ1

- 今年度の調査結果からは、介護支援を受け
る高齢者への対策を実施することが効果的
であると考えられる。

そのため、今年度実施した実状調査や意見
交換会の結果をもとに、高齢者が適切なエア
コン利用の促進等など効果的な熱中症対策が
図れるよう、ケアマネジャー向けのガイドラ
インの作成をするとともに、引き続き、情報
発信や啓発活動に係る調査・研究を進めてい
くことが重要と考えている。

まとめ2

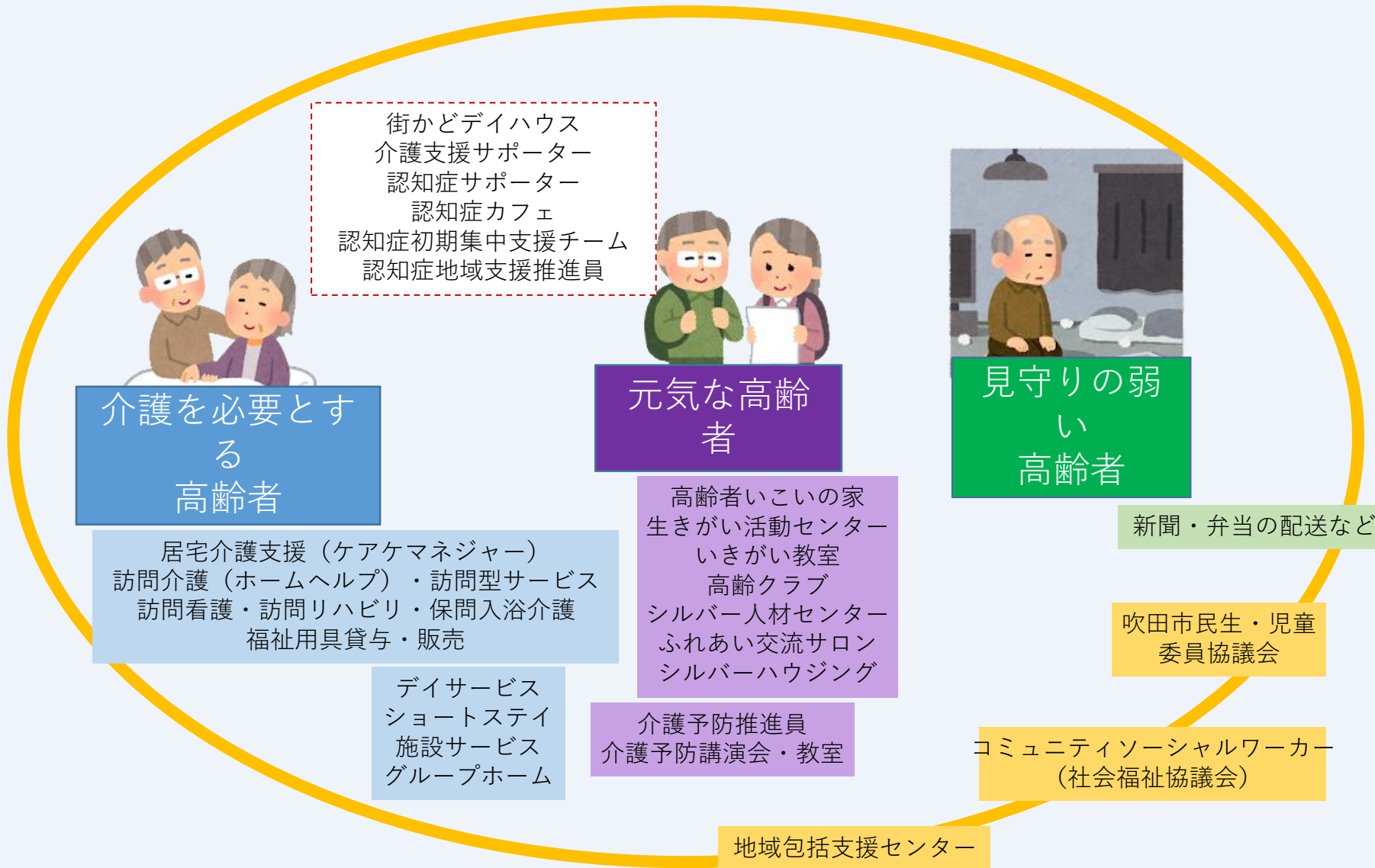
- 高齢者においては、元気な方から介護を受けられている方まで様々な方がおり、高齢者を一括りにせず、様々な方法で啓発していく必要がある、そのため、高齢者の取り巻く関係性の更なる整理が必要と考えている。

高齢者を対象とする熱中症対策見守りネットワーク イメージ

(福祉部局へのヒアリングを参考に作成)



吹田市
SUITA CITY



まとめ3

- 最後に、これまで蓄積してきた熱中症に関する情報等については、可能な限り水平展開を図り、吹田市だけでなく、全国で一人でも救急搬送者を減らせるように取組を実施していきたいと考えている。

ご清聴ありがとうございました